平成二十一年八月四日発行（増刊）（毎週火曜日）　ＡＪＵ通巻　九一四三号　昭和五十四年八月一日　低料第三種郵便物許可

AJU 愛光園だより

～私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします～

編集者：社会福祉法人　愛光園
本部事務局　愛知県知多郡東浦町緒川東米田３３番３
TEL 0562-83-9835　FAX 0562-83-4344
URL http://www.aikouen.jp/　E-mail honbu@aikouen.jp

第１１５号

食事サービスセンターがスタートしました

食事サービスセンター　センター長　渡部　等

食事サービスセンターは、ひかりのさとのぞみの家の増築、改修という形でリニューアルし、6月から新しい部門としてスタートをしました。スタッフは各事業所から食事サービスセンターに異動して、心新たに食事サービスの向上のために専念しています。

「食」は法人愛光園が大切にした柱のひとつです。この理念を改めて学ぶことが何よりも大切と考えて、皿井寿子先生から「食を学ぶ」勉強会を持ちました（この後に紹介します）。

ここでひとつのエピソードを紹介したいと思います。「みかんの皮」のことです。甘夏みかんの皮をむくむかないかで、スタッフで意見の相違がありました。よく聞いてみると、のぞみの家では皮付きのみかんを食卓でスタッフがむいて住人さんに供するのです。ところが、まどかでは、あらかじめみかんの皮をむいて実の状態で食卓に出すというのです。のぞみの家では皮をむくときの香りや音も食卓に広がることでしょう。一方まどかでは皮をそのまま食べてしまいお腹を壊すことが心配なため、住人さんが安心して食べることができるようにと、鮮やかな色のみかんの実で食卓に上るのです。どちらがよいとか悪いとかではありません。

一人一人のことを考えてのサービスであるのですが、方法・手段は異なるのです。

食事サービスセンターが給食センターでないゆえんはこのみかんの皮のエピソードにあるのです。食事サービスは単に食べ物だけでなく、今日のご飯は何だろうから始まり、食べる人の具合やあんばいを感じながら、食事の雰囲気すべてに関わるはずです。食事サービスセンターのスタッフは心を込めて、技術を磨いて、おいしくて滋養のある食事を作るのですが、支援スタッフも食事サービスを提供してくれます。協力しながら、切磋琢磨することが必要と考えています。

本来の特徴を出すまで少し時間をいただくこともあろうと思いますが、よき成長ができますようにご協力をいただきますよう、お願いいたします。

みなさんに美味しく食べてもらえるものを

管理栄養士　稲坂　彩

食事サービスセンターが稼働して約一か月が経ちました。慌しい日々の中で、各事業所の食事へのこだわりや特徴に直面して、それぞれの歩んできた歴史を感じました。ミキサー食の作り方や厨房と介護との関係性の違いなどがとても興味深いと思いました。メニューががらっと変わってしまっている事や、細かい配慮が今まで通りに行かない点で、みなさんにはいろいろご迷惑を掛けていることと思います。

メニューに関しては、栄養士として皆さんに美味しく食べてもらえるものを厨房の職員と協力しながら考えていきたいと思います。細かい配慮の方は、慣れてきたら解決できる部分が多いと思うので長い目でみていただきたいです。食事サービスセンターとして365日食事を提供できる体制は整いました。理念にそった食事の内容に近づけていく事を目標に掲げ、食材や手作りへのこだわりを再確認した点などは、センター化をきっかけにしたからこそ考えることができたのだと思っています。皆さんに「食事サービスセンターになって良かった」と実感してもらえることを一つずつ作っていけたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

ごあいさつ

主任　　藤井さゆり

自然の恵みに感謝して、真心こめて、こだわりのある食事を提供し、毎日学びながら、楽しく喜んでいただけるようにがんばります。

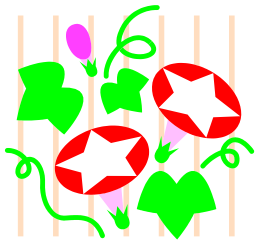
食事作りをとおして

栄養士　半妙芳子

一番重要である食事の仕事に携われて光栄です。これからも食事サービスセンターの皆と協力し、利用者の方々に喜んでもらえる食事を作っていきたいと思います。

祈りて、共に食い

皿井寿子先生の勉強会から一部収録
（2009年5月27日愛光園会議室にて）



ひかりのさとの食事がどういうことかということを一緒に考えていっていただけるのは非常にありがたいです。

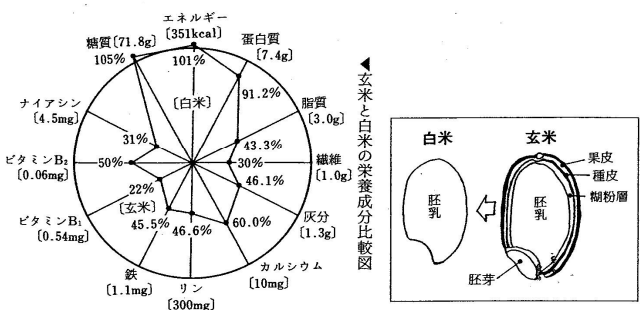
まあ、一番はじめの出発点というのが、のぞみの家のところに大きい額に書いてありますけど、この「祈りて共に食い」。それは、ひかりのさとで共に生きる実践をしたいと思っていたときに、ほんとに共に生きる原点は何だろうと思いました。後藤静香先生という方が書かれた著作集にそれが載っていて、ほんとに人間を救済するため、人間の幸せになるためとは何だろうとものすごく考えた。それは後藤静香先生はクリスチャンだろうし、いろいろそういう実践をしてらした方なんだろうけど、難しい本を読んだり、難しいことを言ったり、難しいことをしても、それは救済にはならん。ほんとに共に食べるということが世界を平和にするし、人間が幸せになる原点だと。こんな簡単なことで幸せになるのかといろいろ思ったけど、やっぱりこれが原点だと。その共に食いということを基にして、共に働き、共に学び、共に考え、共に楽しむ。そのことを大切にしていくことが大事だということが書いてあったんですね。

祈りてっていうのはほんとに謙虚な心で、人間が自分で生きてる、勝手に生きていると思うけど、ほんとに命を見つめたら、そんなこと言ってられないんです。皆さん、勝手に生まれてきたとか思っているかもしれないけど、お父さんとお母さんの精子と卵子が合体して、それもご縁ですよね。合体して一つの細胞がふたつに分かれ、4つに分かれ、8つに分かれ、ずうっと倍々して生まれてくるときには30兆くらいになっているそうですけど、その一つ一つの細胞

がどこで何を作るのかなんか、人間の知恵として考えたことないでしょう。勝手にそれを作ってくれるんですよね。それは大自然の働きというか、命の働きというか、おおもとの神様の働きしかありえないと私は思うんです。しかも、大人になると60兆もの細胞になる。その遺伝子に組み込まれているから伝達していくんだと書いているけど、誰がその遺伝子というのを組み込んだんですか。ほんとにそれはすばらしい大自然の働きだと思うんだけど、そういう大自然の力の中で生かされているというときに、ほんとに謙虚な思いで祈りてということが大事なんだと後藤静香先生は書いているのね。神様お願いだとか、こうしてくださいというお祈りではなくて、祈りてというのはほんとに大自然の命の中に生かされているという、人間としての謙虚さ、感謝の思いを持つということが大切と書かれていたのね。ほんとにこれはひかりのさとで生きる原点だ思いました。

ほんとに共に食べるということがどんなに大切なことか。のぞみの家で共に食べる実践をさせてもらったから、非常に強くそれが言えるんですけど、添加物のないもの、それから自然食といっても、その地域の中で採れたものもの、その旬のものというのが一番人間の自然の命の中で大切だと教えられたんですよね。

（中略）



◀玄米と白米の栄養成分比較図

こころがものすごく大切じゃないかと思うんですよ。私が昔コロニー行ったときに、人間が食べるもんじゃないと思いました。栄養学的に問題なくても、そこには人間の尊厳がない。人間を人間として認めてないわけ。最後まで人間として養われて、人生を終えるようにしたい。それは人様のためだけでなく、自分のため。

私は共に食べるということは、本当に一人一人の自己実現とともに、助け合っていくことだと思います。人間として、人間らしい生き方の原点だと思うから、のぞみの家で実践をさせてもらったのです。だから、はじめの時は人が足りないという中で介護職だってものすごく大変なのに、台所に入ってもらって皿洗いなんかは職員の仕事だったし、本当めちゃくちゃよく働いて、それでも週48時間でも足らなくて、みんなで話し合う時間は夜の時間しかないなんて。みんなで助け合って、共に生きたいという願いではじめさせてもらった。

そこのところで、原点の思いということをサービスセンターでも繋げていってほしい。職員の人も作る人もみんないっしょに入って一緒に食べた。口の中に放り込みながら、自分も放り込みながら一緒に食べた。共に食べることがどうして良いかというと、同じ立場に立って同じものをいただくということ。それはみんな平等だってことでしょう。

センター化となり、作る人と食べる人との距離ができてしまうことが心配です。大きな転換期ということですかね。だからこそ、作って運んで持って行って、そこで食べなきゃいけない。食事サービスセンターで働いている人は誰がどうやって食べているかわかって欲しい。喜んで食べているかもわかって欲しい。どうか食事サービスセンターで働きながらも、みんなへの思いを忘れないで、みんなはこれをどうやって食べているのか、どんな風に喜んで食べているか、食べてないかということを、一人一人が皆さん、考えながらやってほしい。

（記録：渡部）

平成２０年（２００８年）度事業報告

平成20年度も、社会福祉法人愛光園の理念の下、基本方針にそって下のような活動しました。

理念

私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします。

1．私たちは、誰もが、まず「人として」受けとめられ、地域の中で自分らしく暮らすための支援サービスを提供します。
2．私たちは、誰もが、必要なときに、必要な支援サービスを利用できるように取り組みます。
3．私たちは、誰もが、安心して暮らすために、地域の輪の中で、「共に生きる」実践と運動を進めます。

基本方針

制度に対応しつつ事業の安定的継続のための基盤を整備する。

【重点課題】

愛光園移転と新事業体系に対応した組織・プログラムの再編

障がい者活動センター愛光園の活動風景

前年度から行われていた障がい者活動センター愛光園の移転と仲間の家の新築移転は、平成20年5・6月に完了しました。愛光園の跡地については、ケアホームなどを建てる利用計画を大府市共和西区画整理組合に提示し、回答を待っています。

平成20年4月から、ひかりのさとファームが新事業に移行しました。愛光園が東浦町に移転してきたことにより、事業所間の交流は深まりましたが、合同のプログラムなどの実施には至っていません。まどかも、作業棟「あおぞら」を新築した上、21年4月に新事業体系に移行し、全ての事業が新事業体系に移行し終わりました。連携をより深めていきます。

食事サービスセンターの検討

食事サービスセンターは、当初の計画より遅れ6月から運用開始しています。当初は就労支援事業を含めて検討しましたが、まずは安全な食の安定的提供を優先することにしました。工事期間中は利用者の方には大きな負担をおかけしました。より良い食事を提供できるよう取り組んで参ります。

人材確保と福祉従事者としての専門性の向上

新入職員研修会

サブプライム問題やリーマンショックを契機に経済環境が変わり、特に下半期から非常勤職員の確保は進みました。しかし正規職員の応募はそれほど増加していません。特に夜勤の可能な看護師の確保は大きな課題となっています。雇用情勢は21年度以降更に変わることが予想されますので、労働環境や処遇の改善を図りつつ、人材確保に一層努めていきます。

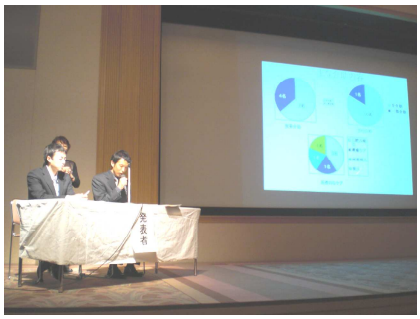
職員の経験年数に応じてどのような力が求められるか基準を示すため職能要件書を作成し、20年度の人事考課にあわせて試行し内容の妥当性を検証しました。職員へのアンケートなどの結果は概ねよかったのですが、多くの改善すべき点も明らかになり、21年度に更に試行を行い、本格導入の準備を進めます。

OJTの仕組みについて勉強会を行いましたが、具体的な準備はできませんでした。しかしいくつかの事業所ではチェックシートを作成して職員育成に活用しています。21年度、全体的な人材育成の仕組みを検討しつつ、OJTなど具体的な育成方法を検討します。

毎年行われる
デンソー技術学園
ボランティア体験

各事業所では、それぞ

れの事業所の特性に合わせた研修（老人保健施設ではターミナルケア、障がい者活動支援センター愛光園では重傷心身障がい対応、らいふでは発達支援、まどかでは自閉症支援など）に取り組みました。専門性を高め、ニーズに対応できるよう力をつけていきます。



第4回　実践発表会

財政基盤の整備

目標であった3カ月分（4億円）の運転資金は確保できました。設備資金の借入の返済も、新たな借入がありつつも総額としては減ってきています。しかし、事業所により状況は大きく異なっており、引き続き改善に向けた一層の努力が必要です。

次期法人愛光園中期経営計画の策定

法人の進むべき方向を検討し法人全体の数値目標などは示しました。しかし年末から年度末にかけて制度変更の具体的状況が明らかになってきましたが、その変化によって法人全体の目標の見直しが必要になり、また各事業の具体的目標にどう反映させるかの検討も不十分でしたので、年度内には完成させられませんでした。財政計画や修繕計画など、前回では不足していた部分を補っていきます。

地域生活移行のための体験
（ひかりのさとのぞみの家）

【主な事業内容】

新規事業

- 昨年度着手した活動センター愛光園の新築移転と仲間の家の建設が完了しました。あわせて活動センター愛光園の定員を26名から30名に増員しました。
- 補助金を得て、まどかの作業棟の増築と活動センター愛光園のパーゴラや倉庫等の建築を行いました。
- 食事サービスセンターの検討を行い、ひかりのさとのぞみの家の厨房を拡げ、設備の更新を行った上で実施することとしました。21年1月に着工し、手直しすべき箇所は残っているものの、21年5月完了しました。
- 認知症高齢者共同生活介護事業所もくせいの家の定員を21年4月から16名から18名に増員するための準備をしました。
- ひかりのさとファームが平成20年4月1日新事業体系へ移行しました。またまどかの新事業体系移行に向け準備を行い、21年4月に移行しました。

社会福祉事業

主な内容

- 自立支援法や介護保険制度の見直しに当たり、国などに要望を行ったり、制度対応の検討を行ったりしました。
- 支援員・介護職員等を得るため積極的に求人活動を行いました。人材育成のための職能要件書を作成し試行しました。
- 設備の更新・整備を以下のように行いました。
  1. 日本財団から車両の助成金をいただき3台整備。
  2. 東海テレビ愛の鈴から車1台ご寄附。
  3. 株式会社デンソーのハートフル基金からご寄附をいただき、ひかりのさとのぞみの家の特殊浴槽を更新。
  4. 補助金を得てケアホームおあしすのリフトの整備。

東海テレビ愛の鈴号
贈呈式にて

公益事業

主な内容

- 相生や通所リハビリテーション事業の経営改善のため検討を行いました。
- 看護師等を確保するため積極的に求人活動を行うと共に、人材育成のための職能要件書を作成し試行しました。

2年続けて交通事故が多かったため、交通安全運動に取り組みました

収益事業は実施していません。

データで見る法人愛光園（職員状況）

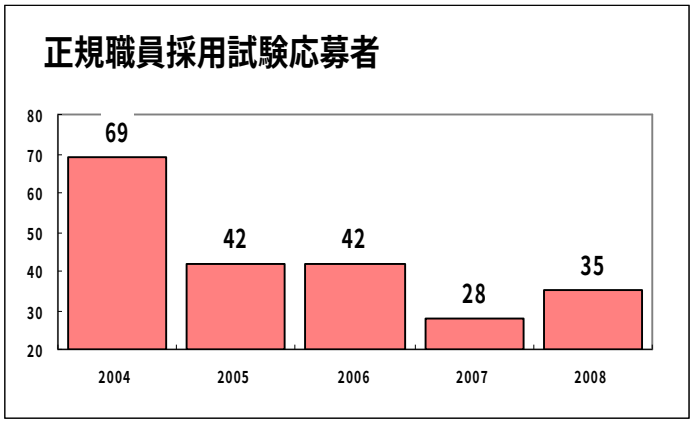
福祉人材の確保の問題が大きくクローズアップされています。社会福祉法人愛光園の状況をデータで見てみましょう。

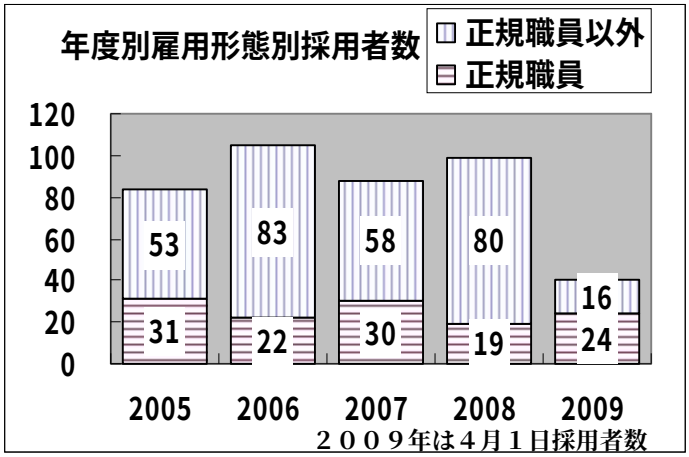
右図「正規職員採用試験応募者」は、年度別に、正規職員採用試験に応募していただいた人数です（看護師など随時採用者は除く）。右下図は、年度別雇用形態別採用者数です。中途採用もありますが、多くは応募翌年に採用となります（例えば2004年に応募した人は2005年採用）。応募者は、2004年度は69人であったものが、翌年は42人、2007年（主に2008年4月採用）には3年前の3分の1近くの28人にまで減少しました。さらに選考途中で辞退される方もいて、2008年採用の正規職員は19人にとどまりました。非常勤職員の採用も2007年は募集広告などを出しても応募者は少なく、現場は大変苦労しました。

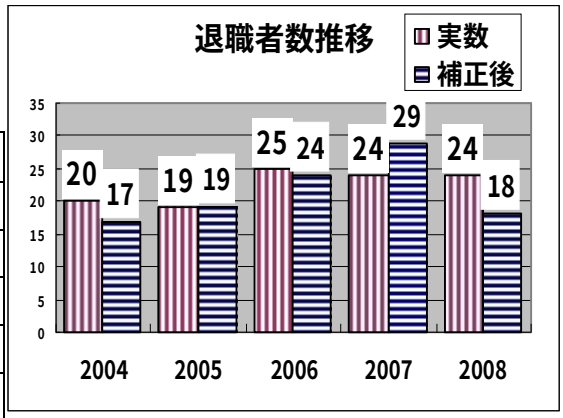
しかし、2008年になると状況が変わってきて、正規職員の応募が若干増加してきました。特に大きく変わったのが非常勤職員です。年度別雇用形態別採用者数でも、正規職員以外が80名と前年より大きく増加していますが、その半数近くが10月以降の採用者です。景気の影響が大きく出ていると思われます。

一方退職者ですが、年度ごとの退職者数をグラフにしたのが右図です。年度ごとに２つの棒がありますが、左は実数。右側は補正した数です。年度末に退職されると、新年度は新入職員の独り立ちまで大変になってしまいます。そのため1ヶ月から3ヶ月残っていただくようお願いすることがあります。そこで6月までの退職者を前年度分としてカウントしました。

実数は3年前までは20人程度、この3年は24人程度です。しかし、補正後を見ていただくとおわかりのように、2007年が29人ととても多くなりました。しかし昨







年度		平成19年度	平成20年度
勤続年数	正規	7年2ヶ月	7年6ヶ月
	非常勤	4年9ヶ月	4年5ヶ月
平均年齢	正規	35歳7ヶ月	36歳0ヶ月
	非常勤	44歳0ヶ月	44歳3ヶ月
常勤換算 正規	直接	155.05	155.65
	間接その他	23.42	21.00
常勤換算 非常勤	直接	102.06	97.02
	間接その他	15.92	16.15
退職者比率		11.89%	13.19%
新入職員定着率		75.00%	89.47%
人件費比率		69.76%	67.17%
経常収支差額率		2.03%	6.71%
現預金保有率		14.99%	15.85%
実習生受入人数		282	258

年度は18人と減少しています。

採用者がやや増え、退職者が減ったことで今年度は状況が改善してきています。

その影響もあって、左ページ左下の表にありますように、今年度は正規職員の勤続年数や平均年齢がやや上昇し、新入職員の定着率も向上しています。

以上のことから、「昨年は、前年の退職者が多く、職員補充もままならずとても大変な状況にあったこと」「後半から非常勤職員を中心に職員の確保ができてきて、退職者も例年より少なく安定して来たこと」が分かります。

今後は不透明です。雇用情勢が悪いからといって福祉業界に人材が来るというものではありません。単純に人手だけでなく、福祉マインドを持った志のある方にぜひ来ていただきたいです。左ページ左下表の一番下の実習生の受入人数が減少していますが、養成校の学生が減っているためだそうです。専門学校の入学定員に対する充足率はかなり悪くなっていることが気がかりです。今後少子化の進展でさらに減っていくと思われます。国や業界としてしっかり取り組んでいく必要があります。

将来の不安はありますが、安心して支援が続けられるよう、職員の確保と育成に今後とも力を入れて参ります。

苦情解決報告

	年度別件数			平成２０年度原因別件数					
	１８年度	１９年度	２０年度	説明不足	職員態度	サービス内容	人権侵害	利用者間	その他
ひかりのさとのぞみの家	9	5	5		4	2	2	1	
まどか	4	4	8	2		7		2	
愛光園	1	1	1			1			
グループホーム	3	0	0						
ひかりのさとファーム	0	1	1			1		1	
相生	3	3	3			2			1
らいふ	1	1	0						
通所リハビリ・こぶし	7	13	11	5	2	10			
ヘルパーステーション	0	3	0						
もくせいの家	0	0	0						
おひさま	0	0	3		1	2			
合計	28	31	32	7	7	25	2	4	1

原因別件数は、１事案に複数の原因をカウントしているので件数と合計数は一致しません。

まとめ

・件数は昨年度とほぼ同じ。どこまで「苦情」として取り上げるかで件数は大きく変わる。苦情解決第三者委員会でも事業所により基準が異なるのはよくないのではとご指摘いただいた。

・不用意な発言や慣れ合いによる職員の態度によるものも多い。人権侵害にあたると思われる事例もあり、職員の意識改革や、教育・チェックなどを行っていく。

・こぶし・通所リハビリは家族との接点が多いため、ご家族からの苦情が出やすいと思われる。特に売店ができたことの案内不足による苦情が多い。

・原因別では、職員の態度や人権は最も大切にしてきたことであるので、この点は0になるよう取り組んでいきたい。判明したときは厳正に対処していく。サービス内容は多いが、これは細かく取りあげれば取りあげる程多くなる。

・苦情解決第三者委員を増員して、より多くの関わりを持てるようにしていきたい。

平成２０年度決算報告

資金収支計算書より

資金収支計算書は、予算と対比して執行状況を管理し、資金の増減を見るために作成しています。予算では当期資金収支差額がマイナスの見込みとなっていましたが、努力して1192万円のプラスと大きく改善しました。その結果、当期末支払資金残高は目標としていた運転資金の３か月分を確保することができました。

19年度と比較すると、介護保険収入は2024万円、自立支援費収入は1393万円、事業収入は603万円の増収となりました。事業部毎にみますと、高齢事業部は、19年度はノロウィルスの影響など利用率が低迷していましたが、20年度は利用率が回復しました。デイサービスセンターこぶしは、過去最高の利用率で収入増に貢献しました。もくせいの家は支出を見直し、利用料金の改定など協力をしていただき適正に運営できる状態を整えました。

障がい事業部は、障がい者活動センター愛光園が5月に移転して5月から定員を30名に増加、ひかりのさとファームは20年4月より就労移行支援・生活介護へ事業移行しました。ひかりのさとのぞみの家、地域居住サポートセンター、愛光園、りんく、ファームは増収、らいふはホームヘルプとレスパイトを直接支援として統合し縮小均衡をとったため減収、まどかも利用者の長期入院のため減収となりました。

補助金収入は、愛知県民間社会福祉施設運営費補助金が1200万円の減少となりました。今年度からは激変緩和措置がなくなり更に厳しくなります。愛光園移転の設備整備補助金、まどか作業棟増築の基盤整備補助金、愛光園のパーゴラ・倉庫の県産材活用施設普及啓発事業補助金などを得て施設、設備の整備を進めました。車両は日本財団より3台と東海テレビ愛の鈴1台の車両の補助を受けました。。

就労支援事業収入は、障がい者活動センター愛光園の昼食の提供などで、1000万円ほど増収しました。

借入金は、愛光園建設の借入金の一部で750万円増えましたが、全体では7000万円弱の返済をして、借入金残高は67286万円になりました。資金収支計算書では、相生の建設資金の借り換えによる43860万円が入っているため借入金収入・支出が大きくなっています。この借換により現在の金利で計算するとトータル5000万円以上の借入金利息を軽減することができます。

人件費は、2674万円の減少となりましたが、必要な人材の確保が十分にできなかったことが影響しています。特に夜勤のできる看護師はここ数年充足できていませんので、今後も確保と定着に努めます。

事業活動収支計算書より

事業活動収支計算書は、一般企業の損益計算書にあたるもので、年度の利益をみるために作成しています。事業活動収支差額は3850万円になりましたが、7000万円程の借入金返済をするため、必要な利益を確保することができていません。

その他、大府市（共和）の旧愛光園建物を取り壊したため、国庫補助金を取り崩し、固定資産の処分損を計上しています。また、今まで本部で計上していた事業所の建物・基本金・国庫補助金などを各事業所に移管し、各事業で費用を反映するように変更しました。

社会福祉法人でも、企業と同じように法人の延命（継続）、将来への投資、従業員の福祉向上（処遇改善）、社会還元などの手段として適正な利益を確保する必要があります。良いサービスを提供し、さらに工夫を加えて必要な利益を得られるように改善を進め、事業の継続・安定に努力していきます。

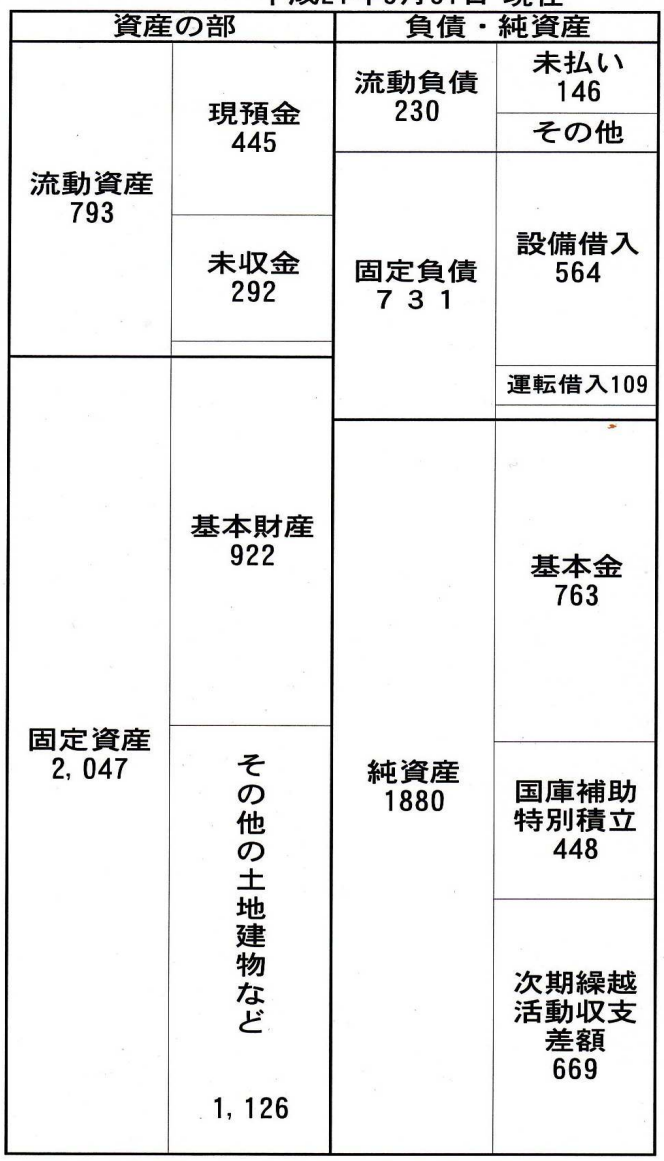
決算報告と事業計画は、各事業所に閲覧できるように備えてありますので、お問い合わせ下さい。法人全体の決算についてはホームページにも掲載しておりますのでご覧下さい。
http://www15.ocn.ne.jp/~aikouen/

貸借対照表

金額を面積換算

単位：百万円

平成21年3月31日 現在



平成20年3月31日 現在

貸借対照表より

貸借対照表は、年度末時点の資産や負債の状況を見るために作成しています。法人の資産は昨年度と比較して、流動資産が3400万円、固定資産が2200万円増加しています。流動資産の内訳は、現金預金の額が減少し、未収金が増加しています。未収金の増加は、まどか作業棟、愛光園パーゴラ・倉庫の補助金が主な原因です。固定資産では、基本財産（社会福祉事業のための土地・建物）が愛光園新築、おあしす新築などにともない増加しています。その他の土地・建物は減価償却などにより減少しています。

流動負債は、未払金が増加していますが、まどか作業棟、愛光園パーゴラ・倉庫の建設費を補助金で支払うため工事費が未払いとなっています。

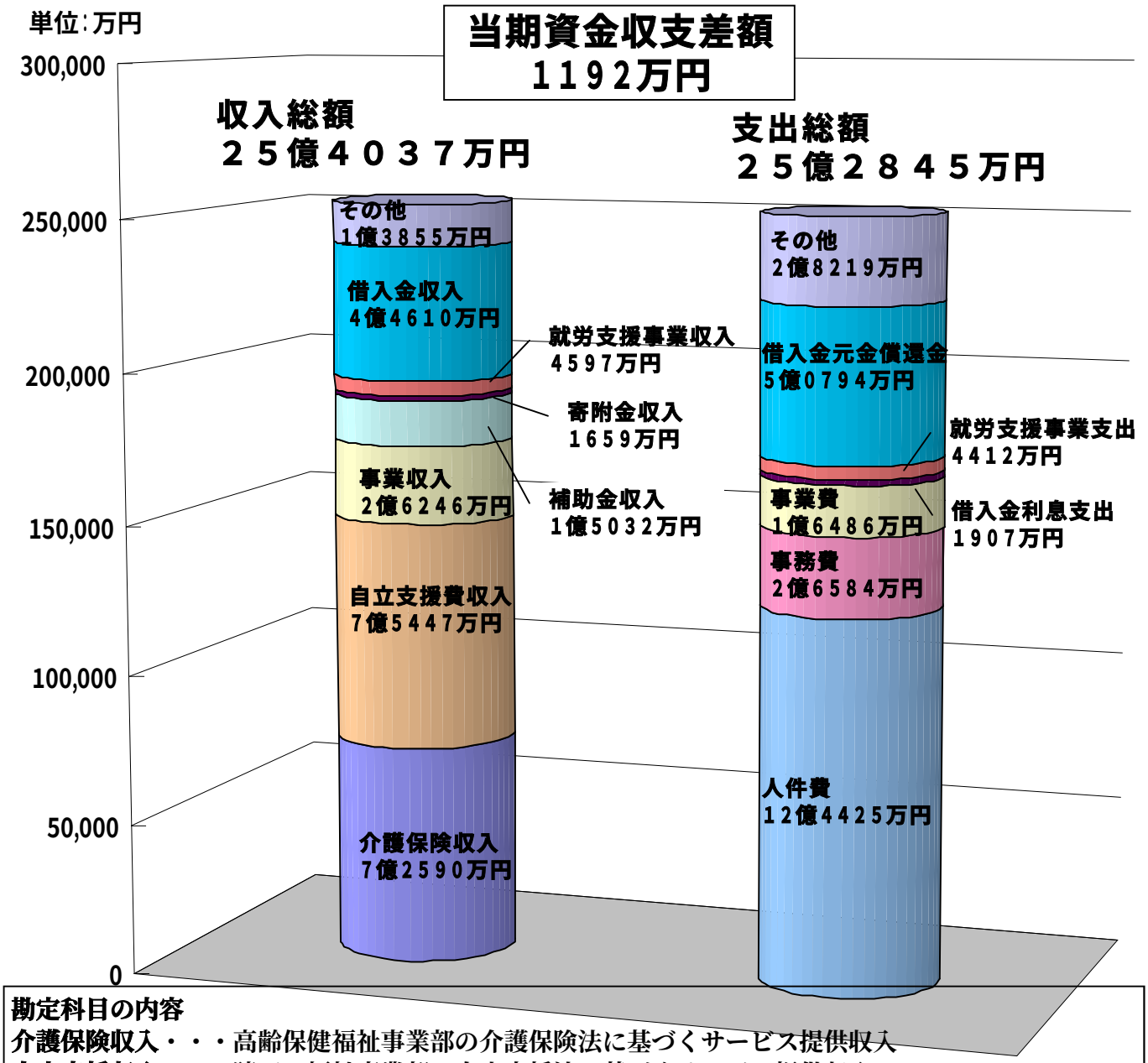
固定負債は、愛光園新築の借入金の一部が増えましたが、全体では設備資金借入・運転資金借入を合わせて6200万円減少し、借入金残高は67286万円です。

基本金は、仲間の家施設整備のためにいただいた寄附金を組み入れたので1500万円増加しました。

国庫補助金等特別積立金は、施設整備補助金や車両の助成などがたくさんありましたので、減価償却に伴う取り崩しを3800万円上回り増額しました。

法人全体では、バランスのとれた健全な状態が確保されているといえますが、事業による偏りが大きいのでいっそうの改善を目指します。

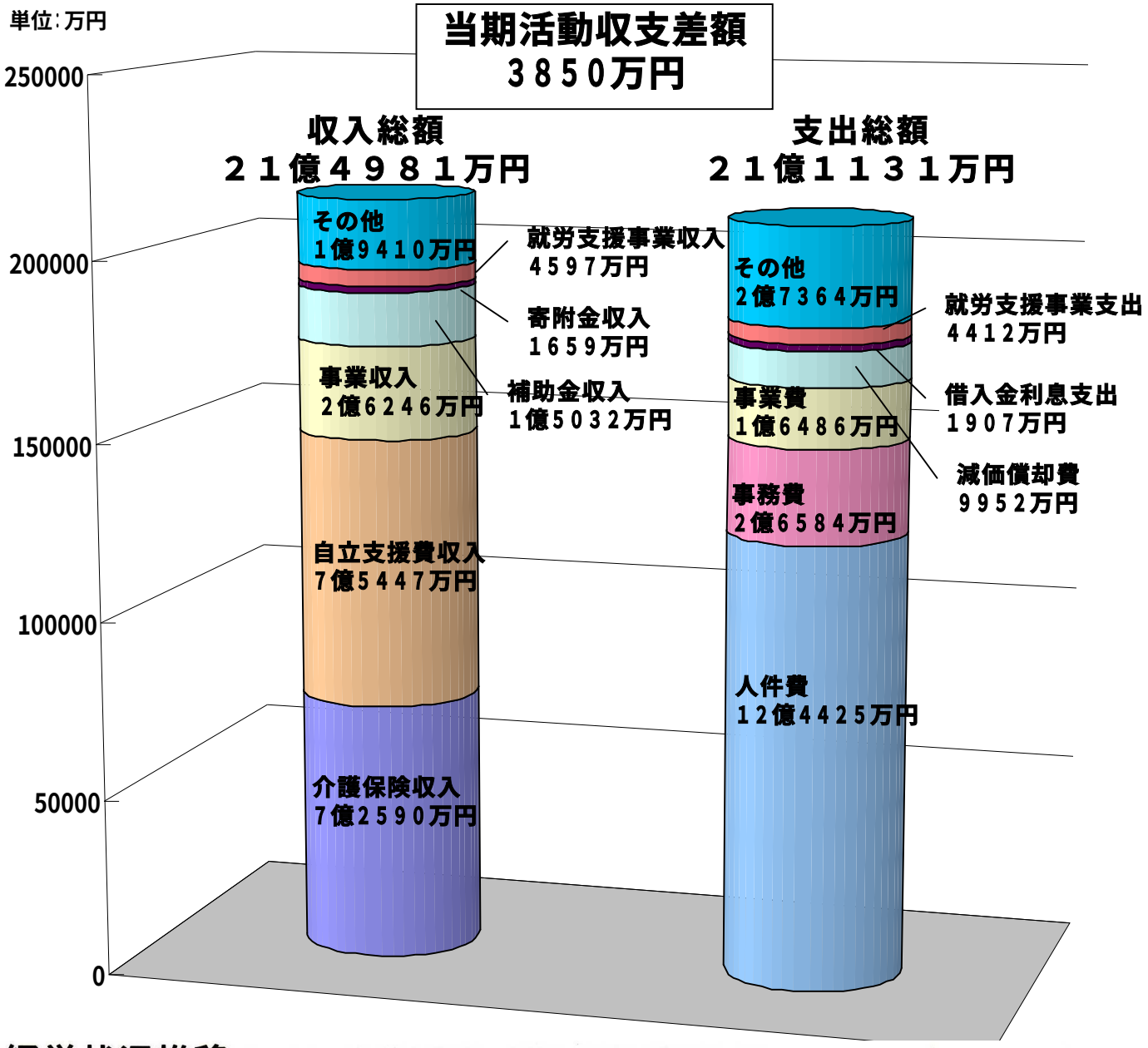
資金収支計算書概要



勘定科目の内容

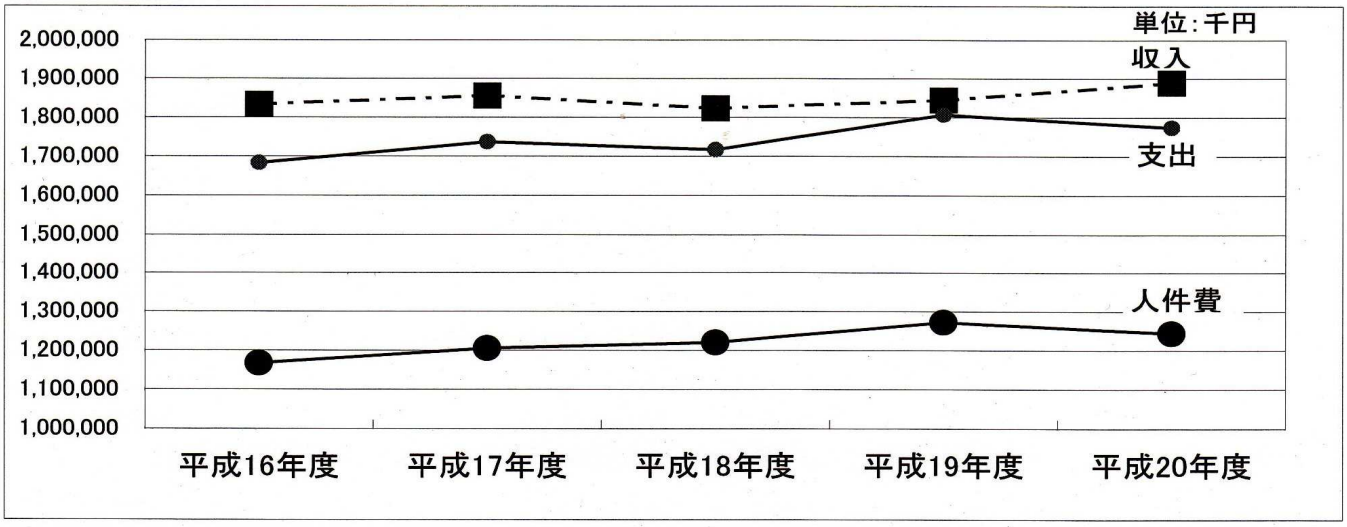
介護保険収入・・・高齢保健福祉事業部の介護保険法に基づくサービス提供収入
自立支援収入・・・障がい福祉事業部の自立支援法に基づくサービス提供収入
事業収入・・・事業の受託費収入、レスパイト事業収入など
補助金収入・・・民間社会福祉施設運営費補助金、施設整備補助金、借入金元金償還補助金など
寄附金収入・・・利用者処遇、事業運営、施設整備などのためにいただいた寄附金
就労支援事業収入・・・ひかりのさとファームの授産事業などの売り上げ
その他収入・・・雑収入、受取利息、法人内資金移動など
人件費・・・給与・賃金・社会保険料・退職金など
事務費・・・事業運営にかかる費用
事業費・・・利用者処遇にかかる費用
借入金利息支出・・・運転資金・設備資金借入金に対する利息の支払い
就労支援事業支出・・・ひかりのさとファームの授産事業などの経費や工賃
借入金元金償還金・・・運転資金・設備資金借入金の元金の返済
その他支出・・・固定資産取得費用、法人内資金移動など

事業活動収支計算書概要



経営状況推移

※法人内資金移動、国庫補助金等積立金取崩、引当金は除く



平成二十一年八月四日発行（増刊）（毎週火曜日）発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会　名古屋市中区丸の内三ー六ー四三　みこころセンター四階　定価五〇円

平成２０年度　車両助成

日本財団様より以下の事業所に車両を助成していただきました。ご報告致します。

【ヘルパーステーションりんく】
日産　セレナ（車いす対応車）
【知多地域障害者生活支援センターらいふ】
スバル　サンバーディアス（昇降シートリフトタイプ）
【ひかりのさとファーム】
日産　セレナ（普通車）　　以上３台です。

東海テレビ様より愛の鈴号を１台【知多地域障害者生活支援センターらいふ】にいただききました。

新しい車両を迎え、今後も支援に励んでいきたいと思います。ありがとうございました。

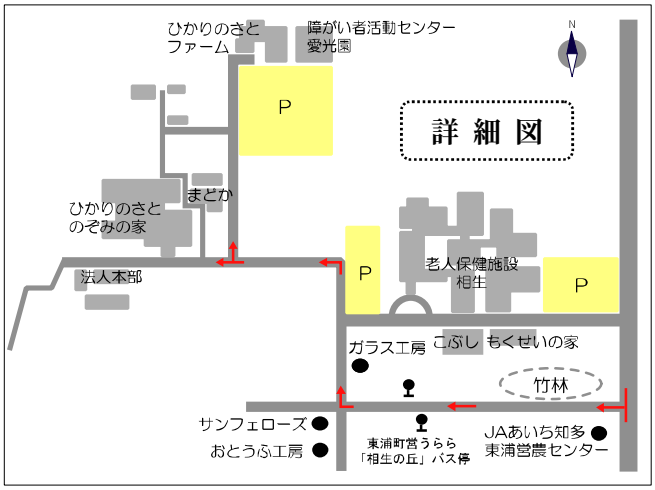
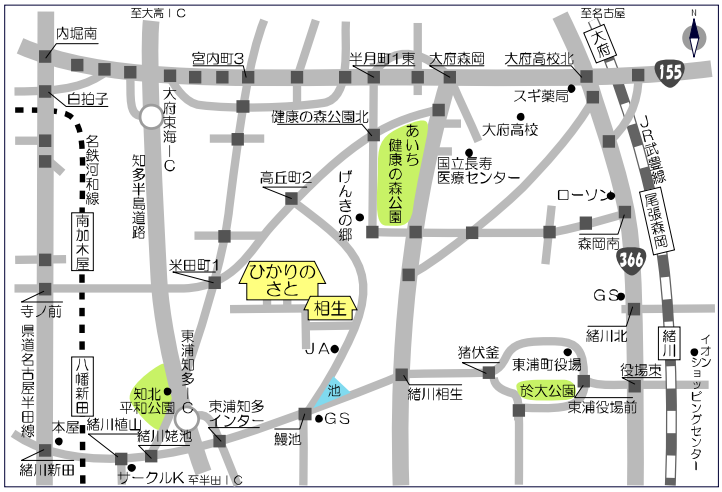
ひかりのさとファームにてレジ袋削減の取り組みとオリジナルエコバッグの販売開始

オリジナルエコバッグ販売

ひかりのさとファームでは、6月1日から「れすとらんくるみ」店頭でレジ袋削減（一枚5円の有料化）の取り組みを始めました。東浦町ではすでに4月1日からレジ袋削減の取り組みが始まっており、当施設も町と消費者団体と協定を結び、店頭でのレジ袋辞退率70%を目標に取り組み始めました。一枚5円のレジ袋で収益が出た場合は、環境保全活動や社会貢献活動等に活用や寄付していきます。

以前からエコ意識の高いお客様が多いファームでは、マイバッグをご持参しているお客様が多いのが現状でしたが、資源節約の更なる取り組みとして、今回オリジナルエコバッグを作成しました。飛び入りのお客様方やちょっとしたお使い物にもご利用頂けることを期待しています。

エコバッグのデザインは、ファームの利用者さんである3人のアーティストが手がけました。プリントゴッコで一枚ずつ手刷りしているため、一つずつ微妙に風合いが違って味わいがあります。袋サイズは①Ａ4ワイドサイズ（200円）と、②マチ付きタイプ（350円）の2種類です。綿製で、もちろん洗濯可です。用途に合わせてお選びください。

れすとらんくるみ店頭に、文字スタンプ（ローマ字）が置いてありますので、購入されたときにお好きにお名前を押していただき、さらに世界で一枚だけのオリジナルマイバッグもできます。ぜひご利用ください！

ひかりのさと案内図　　ＪＲ東海道線大府駅下車、タクシー（15分）が便利です